

2010年度

科目名	倫理学			
担当教員	池田 清			
配当	教育4		コード	24570
開期	通年	講時	火曜日4限	単位数
授業テーマ	人権思想 環境倫理 生命倫理			
目的と概要	「地球温暖化って何やる」(環境倫理)、「安楽死って何やる」(生命倫理)、「DVDコピーして、ええんやろか」(情報倫理)、これらは、身の回りで感じる疑問です。授業は、こうした疑問に関して、法律や、暗黙の了解の背後にあるルールを洗い出します。その際、基本になるのは、人権(=幸福追求権)という考え方です。「自分の幸福って何やる」という発想をベースにして、環境倫理、生命倫理、情報倫理について自分なりの考え方をもちつことが、授業の内容であり、目標です。			
成績評価法	出席(50%)、本試験(50%)から総合的に評価します。			
テキスト	テキストは使用しません。適宜資料を配布しますが、講義ノート中心です。			
参考書	授業中、その都度指示します。			
履修に当たっての注意・助言	倫理学の授業を有意義で面白いものにするために、気楽に、しかも積極的に授業に参加して下さい。			
講義計画				
<p>◎倫理学は、決して堅苦しい道徳ではありません。身の回りで起きていることに対して、普段は「それ、当たり前やん」と思っていますが、「そやけど、〈当たり前〉って、何で思うたんやろ?」と自問したとき、既に倫理学の入り口に立っているのです。「何で、優先座席で、おばあちゃんに席譲らなあかんねん」、「何で、人殺したらアかんねん」など、自分が知らない内にいつの間にか心にインプットされたルール・マナー・作法などに関して、「何で?」と疑問をもち、「みんなも〈当たり前〉と思うてるんやろか」、「〈当たり前〉って思うのは、みんなにとっても〈良いこと〉何やろか」など自問するなら、倫理学に既に足を踏み入れています。</p>				
<p>1 はじめに 倫理学概論 2 人権思想 「幸福って何?」「他人って何?」「社会のルールって何?」 3 応用倫理学の誕生 「環境倫理って何?」「生命倫理って何?」 4 生殖補助医療技術の誕生 「不妊治療って何?」 5 「代理出産って何?」 6 代理出産の現実と問題 7 「家族って何?」血のつながりと近代家族のあり方 8 臓器移植の誕生 「移植って何?」 9 「脳死って何?」 10 現行の臓器移植法と改正案の問題 11 同上 12 緩和ケアの誕生 「死に行く人と、どう接すれば?」 13 「死の受容?」 14 試験対策 15 まとめ 16 環境倫理の誕生 17 preservationとconservation 18 「自然の権利」思想と動物解放論 19 ディープ・エコロジーと全体主義 20 レイチェル・カーソンと農薬問題 21 環境問題の現実 22 産廃不法投棄事件と責任問題 23 リサイクルに関する諸法の意味と限界 24 循環型社会の可能性 25 環境問題の思考様式 功利主義とその限界 26 二つの自由主義 27 世代間倫理 28 民主主義と住民投票 29 試験対策 30 まとめ</p>				